

【利用対象】豊中市内に在住の、児童発達支援を受けるための受給者証をお持ちの
3歳児(年少)～5歳児(年長)



お子さまの特性に合ったかわりが日常の中で増えていくことで、より自分らしく生活できるよう支援します。お子さまの「好きなこと」「得意なこと」「興味のあること」「困っていること」などについて改めて発見したり、理解がより深まるよう、親子通所日などの機会を多く設けています。お子さまが持っている力を発揮しやすくなるように、環境や関わり方を検討し、ご家庭での子育てに取り入れるための工夫を、保護者の方と一緒に探していくことを大切にしています。

発達支援	健康・生活	- 生活場面(排尿・着替え・食事)で、本人にとって分かりやすくなるような工夫を保護者の方と一緒に考えていきます。 例) 食 事：ご家庭の食事の様子を聞き取り、給食に興味を持てるような提供方法や食べる楽しさを感じられるよう工夫をします。 - 着替え：手順をわかりやすくするなど、本人が着替えに取り組みやすくなるような方法を探ります。	 
	運動・感覚	- 視覚、聴覚、触覚等の感覚を使った設定あそびを行います。 - 例：粘土・きれいな紙・楽器・風船・タオルブランコなど - 設定遊びや課題の時間を通して、おもちゃの遊び方や道具の使い方などを知る、体験する機会を作ります。	 
	認知・行動	活動の見通しがわかりやすくなるよう、今の活動が終わったら次に何をするか本人に伝えるなど、かわり方を工夫します。また、本人がわかる方法（写真など）で伝えるようにします。	 
	言語・コミュニケーション	- コミュニケーション場面としては、まずは好きなもの（おもちゃや食べ物）を要求することから始め、伝わった！という成功経験を大切に、スモールステップで取り組みます。 - 自分の気持ちを相手に伝える方法について、事前に適切な伝え方を視覚的に示す、絵カードを用いるなど、本人が伝えやすい方法を探ります。	
	人間関係・社会性	- 複数のお友だちと場所やものを共有するような小集団の場で、本人が安心して過ごせるようかわります。 - やりとりのある遊びの中で、お友だちと一緒に取り組めるような工夫をします。 例：手順やルール、順番を視覚的に示す	 
移行支援		- 本人やご家族の意向を踏まえて、就園・就学に関する情報について、職員より保護者に提供します。 - 本人の特性やニーズなどを環境の変化（入園・入学など）の際に保護者が本人のことを移行先の機関へより伝えやすくなるよう、豊中市の「支援手帳」について情報提供します。保護者が記入するうえでわからないことがあれば職員がサポートします。 - 職員より就園・就学先に対して、あゆみでの様子や配慮することなどの情報を引き継ぎます。	
家族支援		- 保護者が本人の行動を客観的に観察する機会を設定し、職員からも本人の特性について保護者にフィードバックします。また、個別に面談の機会を設定します。 - あゆみでの生活を通して、本人の課題や得意なこと、強みなどについて職員より情報提供します。	
地域支援		本人にかかわる地域の関係者、関係機関との連携のために、あゆみや家庭、地域生活などのそれぞれの本人の行動について、職員より各機関へ情報共有する機会を設定します。	